

令和7年度

肢体不自由教育部門

中学部

第2学年

⑤学習グループ

年間指導計画

## 令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学部	中学部	学年	第2学年	教育課程名	準ずる教育課程		
教科等名	国語		学習グループ名				
目標・ねらい	(1) 抽象的な概念を表す語句を学び会話文章で使用することで、語感を磨き語彙を豊かにことができる。 (2) 観点を明確にして文章を比較し、文章の構成や表現の効果について考えることができる。 (3) 進んで文章を読み理解や思考した事を知識経験と結び付け学習課題に沿い文章を書こうとしている。						
担当教職員 *学校介護職員	西坂 千恵美						
年間授業時数	140 単位時間						
使用教科書	光村図書出版						
月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容	指導上の工夫			
4	アイスプラネット	12	詩(見えないだけ) 説明文(アイスプラネット) コミュニケーション(問い合わせ立てながら聞く) 詩(季節のしおり)	・時代背景や価値観を調べ、古人の考え方や生活様式に理解を示す手段とする ・本、新聞、インターネットの情報を具体的に準備し、比較検討しやすくする ・短歌の特徴についてしっかりと学び、名短歌の優れた点を意識しながら詠めるようする。 ・人物の言動から人柄を読み取り、初読の人物像との変化を比較できるようにする。 ・当時の時代背景や地理、宗教観を調べ、地球とイースターの共通点を見出せるようにする。 ・教材以外に報告や解説など「最後の晚餐」についての資料を読み理解を深めるようする。 ・原作詩「人質」シラー作を合わせて読み、構成や表現の特徴について、共通点・相違点を整理し、「走れメロス」の魅力を認識できるようする。 ・設定とあらすじを具体的に考え、起承転結を意識した構成でかけるように段階を経て取り組むようする。 ・自分の「木」に対するイメージを具体的にあげ、詩の中のイメージと比較し違いを意識できるようにする。擬人法について学び、詩内での効果を学べるようにする。			
5	枕草子	12	古文(枕草子) 説明文(情報処理のレッスン) 創作(職業ガイドを作る) 漢字学習(説明文) クマゼミ増加を探る				
6	クマゼミ増加の原因を探る	12	(説明文) 魅力的な提案 漢字学習(文法) 単語(説明文) メディアを比べよう				
7	短歌に親しむ	11	(文法) 対義語・類義語・多義語(説明文) 翻訳作品を読み比べよう(詩) 季節のしおり				
9	ヒューマノイド	15	(小説) ヒューマノイド(表現) 聞き上手になろう(表現) 表現の工夫(表現) 表現の効果を考える(文法) 敬語				
10	思考のレッスン1根拠の吟味	12	(表現) 思考のレッスン(表現) 根拠の適切さを考えて書こう(表現) 討論・異なる立場から考える・立場を尊重し、話し合おう				
11	仁和寺にある法師	10	(詩) 月夜の浜辺(古文) 源氏と平家・平家物語・徒然草(詩) 季節のしおり 漢字学習				
12	君は最後の晚餐を知っているか	13	(表現) 鑑賞文を書く(文法) 活用について(説明文) 研究の現場へ(詩) 季節のしおり 漢字学習				
1	走れメロス	15	(文法) 単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成についての理解 漢字学習				
2	ある日の自分を書こう	15	(表現) 話し言葉と書き言葉の特徴についての理解・言葉がもつ価値の認識(表現) テーマを話し合い壁新聞を作成				
3	木	8	(詩) 木(まとめ) 学習のふりかえり				
通年	文法への扉	5					

## 令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学部	中学部	学年	第2学年	教育課程名	準する教育課程		
教科等名	社会		学習グループ名	中⑤			
目標・ねらい	(1)日本の各地域について、地域的特色や地域の課題を理解している。日本の歴史の流れを欧米諸国の動きを関連付けながら理解している。 (2)時代的な背景や地域的な環境、歴史と私たちとのつながりなどに着目して、地理的事象や近世の日本を多面的・多角的に考察し、表現している。 (3)社会的事象に対する関心を高め、よりよい社会を形成していくために自ら考えようとする態度を育てる。						
担当教職員 *学校介護職員	丹澤聰子、宮川亜実						
年間授業時数	105 単位時間						
使用教科書	帝国46(703)社会科 中学生の地理世界の姿と日本の国土、東書2(705)新しい社会 歴史						
月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容	指導上の工夫			
4	<地理的分野>第3部 日本のさまざまな地域 第1章 地域調査のしかた 第2章 日本の地域的特色	18	○地域調査のしかたや日本の地域的特色について知る。 ◆「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信の項目」を取りあげ、分布や地域などに着目し、日本の地域的特色を理解する。	・世界各地に興味をもつことできるよう、視聴覚資料を多く提示する。 ・世界の人々の生活を追体験できるよう、ロールプレイ等を行う。			
5							
6	<地理的分野> 第3章 日本の諸地域 1九州地方、2中国・四国地方、3近畿地方 第4部 地域のあり方 第1章 地域のあり方 4中部地方、5関東地方、6東北地方、7北海道地方	30	○プリント学習、資料読み取り、視聴覚資料から、世界の諸地域の気候や、その中で生活を営む工夫を知る。 ◆世界各地における人々の生活の様子とその変容について、自然及び社会的条件と関連付けて考察し、世界の人々の生活や環境の多様性を理解する。	・世界各地に興味をもつことできるよう、視聴覚資料を多く提示する。 ・世界の人々の生活を追体験できるよう、ロールプレイ等を行う。			
7							
9							
10	第4章 近世の日本 1節 ヨーロッパとの出会いと全国統一 2節 江戸幕府の成立と对外政策 3節 産業の発達と幕府政治の動き	20	○近世の世界と日本の動きを知り、互いの関連性について考察する。 ◆大航海時代による諸外国からの影響と武士社会の確立、産業の発展や特色ある文化の違いについて理解を深める。 ○社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解する。	・複雑な日本と世界の関係や当時の人々の生活を知るできるよう、動画や絵巻物などの資料を提示する。			
11							
12	第5章 開国と近代日本の歩み 1節 欧米における近代化の進展 2節 欧米の進出と日本の開国 3節 明治維新 4節 日清・日露戦争と近代産業	28	○近世から現代に至るまでの時代の中で、文化や生活様式の変化を捉えながら、時代を追って出来事や変化をまとめる。 ◆近代前半の時代の特色について、課題意識をもって究明し、捉えることができる。 ○開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解させる。	・劇的な文化や生活の変化を捉えることが出来るよう、見比べることが出来る資料を提示する。 ・近代戦争の特徴を捉えることが出来るよう、戦争の原因や引き金を深く説明する。			
1							
2							
3	学習のまとめ	9	1年の学習の振り返りをする。				

## 令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学部	中学部	学年	第2学年	教育課程名	準ずる教育課程		
教科等名	数学		学習グループ名	中⑤			
目標・ねらい	(1) 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解し、事象を数学的に表現・処理する技能を身に付ける。 (2) 事象を論理的に考察する力、数量や図形を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を明瞭・的確に表現する力を養う。 (3) 数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。						
担当教職員 *学校介護職員	中村 保雄						
年間授業時数	115 単位時間						
使用教科書	学校図書「中学校 数学 2」						
月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容		指導上の工夫		
4	式の計算	13	○多項式の計算、式の利用		・予想したり、同じように考えたり、筋道を立てて考えたり、まとめて1つとみたりするなどの、数学的な見方や考え方を適宜強調する。  ・今までの学年で学んでいる内容で理解が十分ではないものに関しては、プリントや宿題等で復習を適宜行い、理解の定着を図る。  ・パソコンやタブレット端末なども用いて視覚的な支援を行い、分かりやすく説明する。		
5	連立方程式	16	○連立方程式とその解、連立方程式の利用				
6	1次関数	22	○1次関数とグラフ、方程式と1次関数				
7							
9	図形の性質の調べ方	21	○いろいろな角、合同な図形と合同条件、図形の性質の確かめ方				
10							
11	三角形・四角形	18	○二等辺三角形、直角三角形、平行四辺形の性質				
12							
1	確率	10	○確率の求め方、いろいろな確率				
2	データの分布	10	○箱ひげ図、データの傾向の読み取り方				
3	1年間の振り返り	5	○2年生で学んだ内容の振り返り				
通年							

## 令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学部	中学部	学年	第2学年	教育課程名	準ずる教育課程		
教科等名	理科		学習グループ名	中⑤			
目標・ねらい	(1) 自然の事物・現象についての理解を深め、観察実験の基本的な技能を身につける。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探求しようとする態度を養う。						
担当教職員 *学校介護職員	平田 勝雄						
年間授業時数	140 単位時間						
使用教科書	啓林館「ひろがるサイエンス」						
月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容	指導上の工夫			
4	化学変化と原子・分子	41	物質の成り立ち 物質の表し方 さまざまな化学変化 化學変化と物質の質量	(1) 科学資料集や文献の図版などを用いて、見識を広める。 (2) 観察や実験を通して、実際に体験しながら理解を深めていく。 (3) 科書・ノートと復習用のプリントを通して、知識の定着を図る。			
5							
6							
7	生物の体のつくりとはたらき	36	生物の体をつくるもの 植物の体のつくりとはたらき 動物の体のつくりとはたらき 動物の行動のしくみ	(1) 科学資料集や文献の図版などを用いて、見識を広める。 (2) 観察や実験を通して、実際に体験しながら理解を深めていく。 (3) 科書・ノートと復習用のプリントを通して、知識の定着を図る。			
9							
10							
11							
12	地球の大気と天気の変化	32	地球をとり巻く大気のようす 大気中の水の変化 天気の変化と大気の動き 天気の動きと日本の四季	(1) 科学資料集や文献の図版などを用いて、見識を広める。 (2) 観察や実験を通して、実際に体験しながら理解を深めていく。 (3) 科書・ノートと復習用のプリントを通して、知識の定着を図る。			
1							
2							
3							
通年							

学部	中学部	学年	第2学年	教育課程名	準する教育課程
教科等名			音楽	学習グループ名	中⑤
目標・ねらい	(1) 音楽の幅広い活動を通し、音楽を愛好する心情を育み、豊かな情操を培う。 (2) 演奏方法を創意工夫しながら、演奏や合奏をする力を付ける。 (3) 鑑賞などを通して、音楽文化への理解を深める。				
担当教職員 *学校介護職員	早坂 あまね				
年間授業時数	37 単位時間				
使用教科書	教育出版 「中学音楽1 音楽のおくりもの」「中学音楽2・3上下 音楽のおくりもの」「中学器楽1-3 音楽のおくりもの」				
月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容		指導上の工夫
4	楽典	4	○楽典 ○「くいしんばうのラップ」 ◆音符や休符の長さの違いやシンコペーションを理解し、リズムパターンを作ることができる。 ◆様々なリズムで掛け合いをすることができる。		拍を叩いたり、記号を細かく分解する。 ・カードを使い、視覚的に分かりやすくする。
5	歌唱	4	○歌うための準備 ○「ラバーズ・コンチェルト」 ○「主は冷たい土の中に」 ◆身体をリラックスさせ発声することができる。		・身体を温めるため、ストレッチを行う。 ・正しい発声をするため、姿勢を整える。 ・範唱を聴く。
6	鑑賞	5	○「春」第1楽章 ◆楽曲の雰囲気、表現を感じ取ることができる。 ◆作曲者について理解を深めることができる。		・ヴィヴァルディの有名な楽曲を鑑賞し、作曲者理解を深める。
7	歌唱	4	○「ラバーズ・コンチェルト」 ○「夏は来ぬ」 ◆歌詞の意味や示されている情景を想像して歌唱表現することができる。		・歌詞の意味を理解するため、ICT機器を使用し、調べ学習を行う。
9 10	合奏 鑑賞	6	○「茶色い小瓶」 ○「Sing Sing Sing」 ◆楽曲や歴史を学びジャズに興味をもつことができる ◆友達とタイミングを合わせて曲を完成させることができる。 ◆楽譜を見て、工夫して演奏することができる。  ○「魔王」 ◆物語の内容や歌詞を理解し、表現を感じ取り鑑賞することができる。 ◆作曲者について理解を深めることができます。 ◆ドイツ語の曲に興味をもつことができる。		・有名な楽曲を観賞する。 ・楽譜を見やすくするため、印を付ける。  ・日本語とドイツ語の曲を聴き比べる。 ・有名なドイツ語の曲を鑑賞する。
11 12	合唱	5	○「あくびのうた」 ○「マイバラード」 ◆曲想の違いを感じ取って表現を工夫することができる。 ◆音色やハーモニーを捉えながら合唱表現することができる。		・ストレッチをしっかり行う ・パートごとの音取りを繰り返し行う。 ・強弱記号に印を付け、分かりやすくする。
1	鑑賞	4	○西洋音楽史 ◆作曲者や有名楽曲から特徴を捉えクラシックへの理解を深めることができる。 ○「カルメン前奏曲」 ◆物語の内容を理解し、舞台での表現を感じ取り鑑賞することができる。 ◆作曲者について理解を深めることができます。		・日本の歴史と比べられる年表を使用する。  ・相関図を使用し物語を分かりやすくする。
2 3	合唱	4	○「犬のおなか」 ○「翼をください」 ◆ブレスや強弱、フレージングを意識して歌唱することができる。 ◆曲想の違いを感じ取って表現を工夫することができる。		・ストレッチをしっかり行う ・パートごとの音取りを繰り返し行う。 ・強弱記号に印を付け、分かりやすくする。
一年間のまとめ		1			

## 令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学部	中学部	学年	第2学年	教育課程名	準ずる教育課程		
教科等名	美術		学習グループ名	中⑤			
目標・ねらい	(1) テーマや素材などから発想を広げて自分らしい作品を作る。 (2) 様々な素材や道具を使って、楽しんで創作する。 (3) 綺麗なもの美しいものに興味を向け、自分の見方や感じ方を広げる。						
担当教職員 *学校介護職員	門脇美江 早坂あまね						
年間授業時数	35 単位時間						
使用教科書	開隆堂出版「美術2・3」						
月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容	指導上の工夫			
4	色彩の仕組み 【絵画】四季の風景	15	○一年間の授業で生かすことができる 色彩について知識を深める。 ◆色相環や色相、彩度、明度の効果が分かる。 ◆ワークシートに取り組み、色彩の効果等に関心をもつことができる。	・生徒の個別の実態を把握し、今後の授業に 生かせるように丁寧に指導する。			
5			○様々な技法を知り、自分にイメージに合った方法で作品を作る。 ◆成形の基本的な技法を身につける。 ◆制作過程に見通しをもち、適切な技法を判断して作る。 ◆自他の作品に興味をもって鑑賞できる。	・作る作品についてタブレット端末を用い調べ 学習をする時間を設ける。 ・様々な作品に触れ、作品から感じたことを言葉で表す。 ・技法などを丁寧に説明し、自分で見通しをもって作業できるよう配慮する。			
6	【工芸】 (陶芸)	15	○コラグラフの技法を知り、版を使った方法で作品を作る。 ◆素材の持つ質感から、テクスチャーをイメージしながら平面を構成するこ とができる。 ◆制作過程に見通しをもち、適切な技法を判断して作る。 ◆自他の作品に興味をもって鑑賞できる。	・作る作品についてタブレット端末を用い調べ 学習をする時間を設ける。 ・様々な作品に触れ、作品から感じたことを言葉で表す。 ・技法などを丁寧に説明し、自分で見通しをもって作業できるよう配慮する。			
7			○コラグラフの技法を知り、版を使った方法で作品を作る。 ◆素材の持つ質感から、テクスチャーをイメージしながら平面を構成するこ とができる。 ◆制作過程に見通しをもち、適切な技法を判断して作る。 ◆自他の作品に興味をもって鑑賞できる。	・作る作品についてタブレット端末を用い調べ 学習をする時間を設ける。 ・様々な作品に触れ、作品から感じたことを言葉で表す。 ・技法などを丁寧に説明し、自分で見通しをもって作業できるよう配慮する。			
9	【工芸】 (陶芸)	15	○コラグラフの技法を知り、版を使った方法で作品を作る。 ◆素材の持つ質感から、テクスチャーをイメージしながら平面を構成するこ とができる。 ◆制作過程に見通しをもち、適切な技法を判断して作る。 ◆自他の作品に興味をもって鑑賞できる。	・作る作品についてタブレット端末を用い調べ 学習をする時間を設ける。 ・様々な作品に触れ、作品から感じたことを言葉で表す。 ・技法などを丁寧に説明し、自分で見通しをもって作業できるよう配慮する。			
10			○コラグラフの技法を知り、版を使った方法で作品を作る。 ◆素材の持つ質感から、テクスチャーをイメージしながら平面を構成するこ とができる。 ◆制作過程に見通しをもち、適切な技法を判断して作る。 ◆自他の作品に興味をもって鑑賞できる。	・作る作品についてタブレット端末を用い調べ 学習をする時間を設ける。 ・様々な作品に触れ、作品から感じたことを言葉で表す。 ・技法などを丁寧に説明し、自分で見通しをもって作業できるよう配慮する。			
11	【版画】 コラグラフ	15	○コラグラフの技法を知り、版を使った方法で作品を作る。 ◆素材の持つ質感から、テクスチャーをイメージしながら平面を構成するこ とができる。 ◆制作過程に見通しをもち、適切な技法を判断して作る。 ◆自他の作品に興味をもって鑑賞できる。	・作る作品についてタブレット端末を用い調べ 学習をする時間を設ける。 ・様々な作品に触れ、作品から感じたことを言葉で表す。 ・技法などを丁寧に説明し、自分で見通しをもって作業できるよう配慮する。			
12			○コラグラフの技法を知り、版を使った方法で作品を作る。 ◆素材の持つ質感から、テクスチャーをイメージしながら平面を構成するこ とができる。 ◆制作過程に見通しをもち、適切な技法を判断して作る。 ◆自他の作品に興味をもって鑑賞できる。	・作る作品についてタブレット端末を用い調べ 学習をする時間を設ける。 ・様々な作品に触れ、作品から感じたことを言葉で表す。 ・技法などを丁寧に説明し、自分で見通しをもって作業できるよう配慮する。			
1	【デザイン】 (オリジナル時計の制作)	5	○イメージに合わせて実用的な時計のデザインをし、作品を仕上げる。 ◆完成予想図をもち、イメージに合わせた制作ができる。 ◆色彩の効果(視認性など)について配慮した上でデザインを考え、制作できる。	・作る作品についてタブレット端末を用い調べ 学習をする時間を設ける。 ・様々な作品に触れ、作品から感じたことを言葉で表す。 ・技法などを丁寧に説明し、自分で見通しをもって作業できるよう配慮する。			
2			○イメージに合わせて実用的な時計のデザインをし、作品を仕上げる。 ◆完成予想図をもち、イメージに合わせた制作ができる。 ◆色彩の効果(視認性など)について配慮した上でデザインを考え、制作できる。	・作る作品についてタブレット端末を用い調べ 学習をする時間を設ける。 ・様々な作品に触れ、作品から感じたことを言葉で表す。 ・技法などを丁寧に説明し、自分で見通しをもって作業できるよう配慮する。			
3			○イメージに合わせて実用的な時計のデザインをし、作品を仕上げる。 ◆完成予想図をもち、イメージに合わせた制作ができる。 ◆色彩の効果(視認性など)について配慮した上でデザインを考え、制作できる。	・作る作品についてタブレット端末を用い調べ 学習をする時間を設ける。 ・様々な作品に触れ、作品から感じたことを言葉で表す。 ・技法などを丁寧に説明し、自分で見通しをもって作業できるよう配慮する。			
通年	鑑賞		自他の作品を鑑賞して、良い点を発表する。				

## 令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学部	中学部	学年	第2学年	教育課程名	準する教育課程		
教科等名	保健体育		学習グループ名		中⑤		
目標・ねらい	(1) 運動の特性に応じた技能等及び、自分の生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 各種の運動や健康・安全についての自分の課題を見付け、その解決に向けて自ら思考し、判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3) 生涯にわたって運動に親しみことや健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。						
担当教職員 *学校介護職員	高橋 大幸						
年間授業時数	40 単位時間						
使用教科書	中学保健体育						
月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容		指導上の工夫		
4 5	体育祭に向けて 陸上競技・球技	10	○集合、整列、集団行動 ○課題走球技など		・課題解決場面を設定し、助け合う・話し合う活動を行う。		
6 7 9	水泳 保健「傷害の防止」	7	○水慣れ、浮き身、泳法指導 ○傷害の発生要因 ○交通事故の発生要因 ○交通事故の危険予測と回避 ○犯罪被害の防止 ○自然災害による危険 ○応急手当と心肺蘇生方		・室温、水温、WBGTを管理し、安全に入水できるようにする。 ・学習目標を明確に示し、主体的な学習を促し目標を意識化できるようにする。 ・個に応じた課題を設定する。 ・ICT機器を使用する。 ・実態や課題に合わせてグループングをする。 ・教科書や映像を提示しながら授業を進めれる。		
10 11 12	集団行動・マスゲーム ダンス 保健「健康な生活と疾病の予防」	13	○集団行動・ダンス ○生活習慣病の起り方 ○がんの予防 ○喫煙、飲酒、薬物乱用の害と健康 ○薬物乱用の社会的な影響		・集団行動として、友達と協力する場面を設定する。 ・集団や空間を意識できるように、集合したり整列したりする。・各種運動ごとに学習プリントを使用し、ルールや競技方法、自己評価、次時の目標を振り返ることができるようになる。 ・動画等で手本を見たり、ICT機器を使用したりする。		
1 2 3	生涯スポーツ・武道 保健「運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方」	10	○生涯スポーツ ○剣道：基本動作・面・小手 ○運動やスポーツの効果 ○運動やスポーツの安全な行い方		・学習目標を明確に示し、主体的な学習を促し目標を意識化できるようにする。 ・教科書や映像を提示しながら授業を進めれる。		
通年	性教育		○心身の発達と心の健康		・男女の心身の特質を基に、お互いを受容する態度を育成し、望ましい人間関係を築けるよう授業を展開する。		

## 令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢體不自由教育部門

学部	中学部	学年	第2学年	教育課程名	準ずる教育課程		
教科等名	技術・家庭		学習グループ名	中⑤			
目標・ねらい	(1) 社会や生活、自立に必要な基礎的な知識と技能を習得する。 (2) 社会生活に必要な事柄について考え、課題を設定し、解決策を考え、実践し、表現するなどして、課題を解決する能力を身に付ける。 (3) 社会生活を大切にする心情を育みながら課題解決に主体的に取り組み、社会の一員として生活をより良くしようとする実践的な態度を養う。						
担当教職員 *学校介護職員	保呂草健 並木美由紀						
年間授業時数	72 単位時間						
使用教科書	技術 開隆堂「技術・家庭 技術分野」 家庭 教育図書「New技術・家庭 家庭分野」						
月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容	指導上の工夫			
4	○生活や社会を支えるエネルギー変換の技術 ○エネルギー変換の技術による問題解決 ○社会の発展とエネルギー変換の技術	22	○身の回りのエネルギー変換の技術 ○発電の仕組みと特徴 ○電気回路の仕組み ○電気機器を安全に使用するための技術 ○運動エネルギーへの変換と利用 ○エネルギー変換の技術の最適化	・身の回りの製品に込められた技術や技術の発達について調べさせ、技術分野の学習への関心を高める。 ・安全に気を付けて実習を行う。 ・具体物を教材に活用して理解を促す。 ・様々な情報コンテンツを活用して興味関心を高める。			
5							
6							
7	○生活や社会を支える情報の技術	14	○身の回りの情報の技術 ○コンピュータの仕組み ○情報のデジタル化 ○情報通信ネットワークの仕組み	・ICT具体物や視覚支援を利用する。 ・実際の操作や実例紹介や実習などを通じて、理解や思考の支援を行う。			
9							
10		24					
11	○食生活を豊かにするために ・日常食の調理 ・食事摂取基準 ・何をどれだけ食べたらよい か		調理の基礎技術（計量器具の使い方、調理道具の使い方） 日常食の調理（洗う、切る、調理、片付け） 食事摂取基準 6つの基礎食品群と、食品群別摂取量のめやす、食品成分表	・安全と衛生に気を付けて実習を行う。 ・実習を通して、自分の課題に気付き、解決策と一緒に考えながら実習を進められるようになる ・絵カードやプレゼンテーションソフトなどで視覚的に分かりやすくする。 ・自分の生活と結び付けて考えられるようにする。			
12							
1							
2	○衣生活と自立 ・製作の基礎技能 ・小物類の製作 ・衣服の手入れ	12	裁断、ミシン縫いの基礎（直線縫い、返し縫い） 小物類の製作 洗濯（洗剤の種類、洗濯機の使い方）	・見本や資料を提示し、視覚的に分かりやすくし、見通しがもてるようになる。 ・実習を通して、自分の課題に気付き、解決策と一緒に考えながら製作や実習を進められるようになる。			
3							
通年							

## 令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学部	中学部	学年	第2学年	教育課程名	準ずる教育課程		
教科等名	外国語		学習グループ名	中⑤			
目標・ねらい	(1) 英文の形・意味・用法を理解し、日常的な話題について英文の概要を捉える技能を身につける。 (2) 話の内容を把握して適切に応答するために、事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、まとまりのある話をしたり文章を書いたりする。 (3) 日常的な話題や海外の話題について、主体的に英語を用いて伝え合おうとする。						
担当教職員 *学校介護職員	伊藤 雄太						
年間授業時数	147 単位時間						
使用教科書	東京書籍 NEW HORIZON English Course2						
月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容	指導上の工夫			
4	Unit0 My Spring Vacation	12	これまで学んできたことを用いて、自分が経験したことを同氏の過去形を用いて伝える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語で簡単な挨拶をしたり、やさしい指示を聞いて行動したりすることに慣れるよう、毎時の授業で定型表現を用いる。</li> <li>視聴覚教材を活用して、音声と文字が結び付くようにする。</li> <li>授業の始めに英語の歌を扱い、ネイティヴの発音やイントネーションにふれる。</li> <li>学習内容の理解の定着を図るため、プリントやワークを用いる。</li> <li>ALTによる授業では、発音に慣れるとともに、自信をもって発言できるような雰囲気作りをする。</li> </ul>			
5	Unit1 What can we experience on a trip?	12	未来形を用いた文、S VOO, S VOCの文型を理解し、予定や計画について伝える。				
6	Unit2 What is local food?	12	接続詞when, if, because, thatを用いた文を理解し、時や条件、理由や考え方・意見など伝え合う。				
7	Unit3 What kind of job are you interested in?	12	不定詞を用いた文を理解し、何かをする目的や感情の原因、することや大切なことなどについて、尋ねたり答えたりする。				
9	Let's Read1 History of Clocks	12	時間の経過を表す語句の意味や働きを理解し、時計がどのような歴史をたどって発展してきたかを読み取る。				
10	Unit4 What is important in homestay?	12	have to, must, 動名詞を理解し、しなければならないことや決まりごと、楽しんでいることなどについて伝える。				
11	Unit5 What design is good for everyone?	12	疑問詞+to, 主語+be動詞+形容詞+thatの文を理解し、どのようにしたらよいかや、確信やうれしいことなどについて伝え合う。				
12	Unit6 How can we make a good presentation?	12	比較表現を用いた文を理解し、複数のものを比べて伝え合ったり、尋ねたり、答えたりする。				
1	Let's Read2 A Glass of Milk	12	場面や登場人物の心情を表す表現を理解し、物語の流れに沿って登場人物の気持ちを読み取る。				
2	Unit7 What are World Heritage sites and their problems?	12	受け身の文を理解し、世界遺産などについて事実や自分の考えや気持ちを伝え合ったり、尋ねたり答えたりする。				
3	• Let's Read3 Picture and Our Beautiful Planet • 1年間のまとめ	16	• 時系列を表す文章構成や語句を理解し、ある人物の生涯について書かれた文章の内容を読み取る • 単語、文法の復習をし、1年間の学習事項の定着を図る。				
通年	ALTとの英語でのやり取り を中心とした学習	11	• ALTと英語でやり取りする。・他国の文化に触れる。				

## 令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学部	中学部	学年	第2学年	教育課程名	準する教育課程
教科等名			道徳	学習グループ名	中⑤
目標・ねらい	(1)集団や社会でのルールやマナーなどについての理解を深める。 (2)自分や他の人に対する理解を深め、考え方や意見を自ら表現する。 (3)自然や崇高なものに興味をもち、理解を深める。				
担当教職員 *学校介護職員	西坂 千恵美				
年間授業時数	35 単位時間				
使用教科書	きみがいちばんひかるとき 1・2・3年				
月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容	指導上の工夫	
4	A [向上心、個性の伸長]	3	○自己紹介、他己紹介 ◆自分の興味や関心について考える。	自己を見つめ、事故の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。	
5	B [相互理解・寛容]	7	○グループエクササイズ、コミュニケーションゲーム ◆お互いを認め合う心を育てる。	自分の考え方や意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなもの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと。	
6					
7	A [真理の探究、創造]	2	○課題や問題点に対して自分なりの意見をもち、伝える。 ◆答えが一つではない問題について考え、自分の意見をもつ。	真実を大切にし、審理を探求して新しいものを生み出そうと努めること。	
9	C [遵法精神、公徳心] あすを生きる]	3	○インターネット使用時のルールや著作権について知る。 ◆法やきまりの意義を理解し、自他の権利を重んじる自覚と判断力を養う。	法やきまりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切にし、義務を果たして、規律ある 安定した社会の実現に努めること。	
10	B [礼儀の心] あすを生きる]	4	○礼儀、マナーについて考え、話し合う。 ◆あいさつの意義を理解し、場面に応じて適切な言動をしようとする実践意欲と態度を育てる。	礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとること。	
11	D [生命の尊さ] きみがいちばんひかるとき1	4	○命の尊さについて自分の意見を発表し、友達と話し合う。 ◆生命のかけがえのなさを理解し、生命を大切にしようとする態度を育てる。	生命の尊さについて、その連續性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重すること。	
12	A [希望と勇気、克己と強い意志]	2	○グループ学習発表練習 ◆困難や失敗を乗り越えて、着実にやり遂げる気持ちを育てる。	より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気をもち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること。	
1	C [国際理解、国際貢献]	3	○SDGsについて学び、考える。 ◆国際的視野に立ち、世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする心情を育てる。	世界の中の日本人としての自覚をもち、他国を尊重し、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に寄与すること。	
2	C [勤労]	4	○疑似仕事体験 ◆働くことの素晴らしさについて学ぼうとする実践意欲を育てる。	勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方にについて考えを深め、勤労を通じて社会に貢献すること。	
3	B [思いやり、感謝]	3	○1年間の自分を振り返る ◆多くの人によって支えられ、守られていることに気付き、感謝する態度を育てる。	思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の 善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めること。	
通年					

## 令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学部	中学部	学年	第2学年	教育課程名	準ずる教育課程		
教科等名	総合的な学習		学習グループ名	中⑤			
目標・ねらい	(1)自分の考えを相手に伝える方法を知る。 (2)相手の意見をふまえた上で、自分の考えをもち、自分で判断し問題解決につなげる資質を身に付ける。 (3)学び方やものの考え方を身に付け、多くの活動に主体的、協同的に取り組む経験を積む。						
担当教職員 *学校介護職員	早坂あまね、高橋 大幸、西坂千恵美						
年間授業時数	83 単位時間						
使用教科書	なし						
月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容	指導上の工夫			
4	自己紹介 今年度の目標設定	6	自分のことを自分の言葉で紹介する。 自己の目標、グループの目標を設定する。	(1)自分の考えを相手に伝える方法を知る。 (2)相手の意見をふまえた上で、自分の考えをもち、自分で判断し問題解決につなげる資質を身に付ける。 (3)学び方やものの考え方を身に付け、多くの活動に主体的、協同的に取り組む経験を積む。			
5	校外学習(事前学習)	8	国会議事堂についての調べ学習・発表 しおり作成				
6							
7	校外学習(事後学習) 情報リテラシー学習	8	校外学習で学んだことをまとめる。 情報リテラシー、SNSの使い方 インターネットの適切な使い方を身に付ける。				
9							
10	防災マップ作り	8	学校周辺の防災マップを作成し防災についての知識を深める。				
11	AEDマップ作り	8	AEDの使い方を理解する。 学校周辺のAEDの設置場所を調べ、マップにする。				
12							
1	ビジネスマナー 買い物学習	8	職場体験学習に向け、礼儀、マナーについて考え、話し合う。 公共施設を利用するときのマナーを学ぶ。				
2	進路学習	10	人生予想図作成 適正把握 高校、大学、職業についての調べ学習 高校や大学、職業について学び、自分に合った進路について考える。				
3							
通年	栽培活動、読書活動	27	作物や植物を栽培する。学校図書館を利用する。				

## 令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学部	中学部	学年	第2学年	教育課程名	準ずる教育課程		
教科等名	特別活動		学習グループ名	中⑤			
目標・ねらい	(1) 学習や活動に工夫して取り組む楽しさを知る。 (2) 身近な仲間を意識し、協力し合う方法を考えながら学校生活を送る。 (3) 行事への期待感や興味・関心を高め、自主的・主体的に活動する。						
担当教職員 *学校介護職員	牧 理 内田麻衣 丹澤聰子 西坂千恵美 高森寛太 *飯田実和 *土橋みゆき						
年間授業時数	38 単位時間						
使用教科書							
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい	指導上の工夫			
4	オリエンテーション	1	○行事や学習内容に関するオリエンテーション。 ◆学校生活に見通しや期待感をもつ。	・写真や視聴覚教材を利用し、興味・関心をもてるようにする。			
	新入生歓迎会	3	○活動内容について意見を出し合い、協力して準備をする。 ◆新入生歓迎会の準備を行い、1年生を温かく迎える。	・出し物に見通しをもてるよう、どんな活動があるか例示する。			
5	体育祭	4	○体育祭の競技種目を知る。 ○体育祭の競技種目を体験し、互いに励まし合い、練習する。 ◆体育祭に見通しをもち、参加する。	・支援具を工夫し、自分なりの方法で活動できるようにする。 ・学習グループを超えてコミュニケーションがとれる場面を設定する。			
6	レクリエーション	4	○モルック、ゲームなど ◆レクリエーションを通して、仲間や身近な支援者を意識しながら活動する。	・学習グループを超えてコミュニケーションがとれる場面を設定する。			
7	1学期を振り返って	1	○発声やスイッチなどの方法で主体的に発表する。 ◆1学期を振り返り、頑張ったことを発表する。	・自分なりの方法で発表できるよう支援する。			
9	2学期の予定	1	○2学期の主な行事予定を確認する。 ◆2学期の行事予定を知り、見通しをもつ。	・写真や視聴覚教材を利用し、興味・関心をもてるようにする。			
	移動教室	5	○スライド教材を見て、日程や行程について確認する。 ○移動教室に向けて事前準備をする。 ○移動教室を終えて頑張ったことなどを発表する。 ◆移動教室について見通しをもつ。	・移動教室に見通しをもてるよう、昨年度の写真や映像などの資料を用意する。 ・学習グループを超えてコミュニケーションがとれる場面を設定する。			
10	墨東祭について	7	○墨東祭の発表内容を協力して考える。 ○発表の練習をする。 ○小道具や背景などを作成する。 ○墨東祭を振り返る。 ◆発表の練習や道具の制作を、見通しをもち主体的に参加する。	・自分なりの方法で活動できるよう支援具を工夫したり、繰り返し練習したりし、見通しをもち参加できるようにする。 ・学習グループを超えてコミュニケーションがとれる場面を設定する。 ・仲間を意識して考えたり、発表したりできる活動を設定する。			
11							
12	2学期を振り返って	1	○2学期を振り返り、頑張ったことを発表する。 ◆2学期を振り返り、頑張ったことについてお互いに発表し合う。	・仲間を意識して発表できるよう言葉掛けを行う。			
1	3学期の予定	1	○3学期の主な行事予定を確認する。 ◆3学期の行事予定を知り、見通しをもつ。	・写真や視聴覚教材を利用し、興味・関心をもてるようにする。			
	3年生を送る会に向けて	5	○3年生を送る会の準備をする。 ◆3年生を意識して送る準備を主体的に行う。	・これまでの送る会の写真を見て、自分たちなりの送り方を考えられるように支援する。 ・学習グループを超えてコミュニケーションがとれる場面を設定する。			
3	卒業式に向けて	3	○卒業式の練習に参加する。 ◆卒業式に向けて、式へ参加する構えと見通しをもつ。	・見通しがもてるよう、絵カードを提示したり、言葉掛けをしたりする。			
	2年生を振り返って 進級に向けて	2	○2年生を振り返って、1年間頑張ったことを考え、発表する。 ○3年生に向けて頑張りたいことや挑戦したいことを考える。 ◆1年間を振り返り、進級に向けて目標を確認する。	・自分なりの方法で発表できるよう支援する。 ・仲間を意識して発表できるよう言葉掛けを行う。			
通年							

## 令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学部	中学部	学年	第2学年	教育課程名	準ずる教育課程		
教科等名	自立活動		学習グループ名	中⑤			
目標・ねらい	(1) 障害による学習上、生活上の困難を知り、改善する。 (2) いろいろな姿勢や動作を経験することで、自分自身の身体とその動きを感じ、受け入れる力付ける。 (3) ストレッチなど、変形や拘縮の予防につながる活動をすすんで行う。						
担当教職員 *学校介護職員	高橋大幸 西坂千恵美 早坂あまね 佐伯かおり 斎藤篤彦						
年間授業時数	72 単位時間						
使用教科書	なし						
月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容	指導上の工夫			
通年	身体の取り組み コミュニケーション	72	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ストレッチ</li> <li>・姿勢変換(臥位から座位へ、寝返り、車いすから床への移乗、床から車いすへの移乗など)</li> <li>・姿勢保持(座位、膝立ち、立位など)</li> <li>・歩行練習</li> <li>・手指の操作性を高める取り組み</li> <li>・全身の運動性を高める取り組み</li> <li>・視機能を高める取り組み</li> <li>・コミュニケーションゲーム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体の取り組みを行う際には適切な指導を行えるよう、個々の身体の状態を細かく把握し、共有する。</li> <li>・日々の生活において自分自身で行えるような活動を外部専門員と相談し、決定する。</li> <li>・正しいコミュニケーションの方法や言葉遣いの例示を行う。</li> </ul>			